

## 財務諸表に対する注記

### 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却方法

##### 有形固定資産

定率法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。  
什器備品・・・5年～8年

#### (2) 引当金の計上基準

##### 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 会計方針の変更

引当金の計上基準は、従来会費補助基金引当金、周年記念行事引当金、フォーグワ実技講習用リフト購入引当金をそれぞれ将来の費用発生を見込んで引当金として計上していましたが、当期より負債性引当金の範囲を見直した結果、これらの引当金を全額取り崩し、正味財産へ振替える方法に変更しました。

この変更により、従来の方法に比べて、正味財産が24,869千円増加しております。

### 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>特定資産</b>				
退職給与積立預金	7,599,838	3,604	0	7,603,442
会費補助積立預金	21,365,770	84,956	3,000,000	18,450,726
周年記念行事積立預金	4,002,400	1,204	0	4,003,604
フォーグワ実技講習用リフト購入積立預金	2,501,500	0	2,501,500	0
合計	35,469,508	89,764	5,501,500	30,057,772
<b>その他資産</b>				
運営安定準備預金	5,646,951	802	4,308,061	1,339,692
合計	5,646,951	802	4,308,061	1,339,692

### 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>特定資産</b>				
退職給与積立預金	7,603,442		(7,603,442)	(7,603,442)
会費補助積立預金	18,450,726		(18,450,726)	
周年記念行事積立預金	4,003,604		(4,003,604)	
フォーグワ実技講習用リフト購入積立預金	0		0	0
合計	30,057,772		(30,057,772)	(7,603,442)
<b>その他資産</b>				
運営安定準備預金	1,339,692		(1,339,692)	
合計	1,339,692		(1,339,692)	

### 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	643,300	620,969	22,331
敷金	960,000	672,000	288,000
合計	1,603,300	1,292,969	310,331

